

## 藤原賞受賞者及業績一覧表

公益財団法人 藤原科学財団

| 回数 及 年                     | 研究 題 目                                           | 受 賞 者 (敬称略)                                                                                                                                                              |
|----------------------------|--------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第 1 回<br>1960年<br>(昭和35年)  | ジベレリンの研究                                         | 東京大学名誉教授 農博 藪田貞治郎<br>東京大学農学部部長 農博 住木 諭介<br>農業技術研究所 生理遺伝部長 林 武                                                                                                            |
| 第 2 回<br>1961年<br>(昭和36年)  | 可変エネルギーサイクロトロン<br>の設計建設                          | 東京大学原子核研究所教授 理博 熊真諷 谷田寛 夫平<br>東京大学原子核研究所助教授 理博 真諷林 訪 順 樹<br>東京大学原子核研究所助教授 理博 諷 訪 繁 雄<br>東京大学原子核研究所助教授 理博 林 松田 巖 久<br>東京大学原子核研究所助教授 理博 佐西 治 一 淑<br>東京大学原子核研究所助手 西 村 奎 夫 吾 |
| 第 3 回<br>1962年<br>(昭和37年)  | 癌の発生、成長並びに治療に関する<br>基礎的研究                        | 東京大学医学部教授 医博 吉田富三<br>佐々木研究所所長 薬博 桜井欽<br>佐々木研究所研究員 医博 井坂英<br>佐々木研究所研究員 医博 佐藤 成<br>佐々木研究所研究員 医博 小田嶋 夫 彦 博 和                                                                |
| 第 4 回<br>1963年<br>(昭和38年)  | 光合成微生物クロレラの研究                                    | 東京大学名誉教授 理博 田 宮 博<br>徳川生物研究所所長                                                                                                                                           |
| 第 5 回<br>1964年<br>(昭和39年)  | 解析的半群の理論および応用                                    | 東京大学理学部教授 理博 吉田耕 作城<br>大阪大学理学部講師 理博 田辺 弘 三<br>東京大学理学部助教授 理博 伊藤 清 宏<br>東京大学工学部講師 理博 藤 田                                                                                   |
| 第 6 回<br>1965年<br>(昭和40年)  | 有機化合物の結晶化学                                       | 関西学院大学教授 理博 仁 田 勇                                                                                                                                                        |
| 第 7 回<br>1966年<br>(昭和41年)  | 微生物による発酵生産物に関する<br>基礎的研究                         | 東京大学名誉教授 農博 坂 口 謹一郎                                                                                                                                                      |
| 第 8 回<br>1967年<br>(昭和42年)  | 芳香族第三級アミンN-オキシドに<br>関する研究                        | 東京大学名誉教授 薬博 落 合 英 二                                                                                                                                                      |
| 第 9 回<br>1968年<br>(昭和43年)  | 構造用鋼板の脆性破壊の研究                                    | 東京大学名誉教授 工博 吉 識 雅 夫<br>東京大学工学部教授 工博 金 沢 武                                                                                                                                |
| 第 10 回<br>1969年<br>(昭和44年) | アジア、太平洋地域、特に東アジアの古期<br>古生界の地史学的古生物学的研究           | 東京大学名誉教授 理博 小 林 貞 一                                                                                                                                                      |
| 第 11 回<br>1970年<br>(昭和45年) | 物性基礎論とくに統計力学および<br>確率過程論に関する研究                   | 東京大学理学部教授 理博 久 保 亮 五                                                                                                                                                     |
| 第 12 回<br>1971年<br>(昭和46年) | 抗生物質の研究、特に新領域の<br>開拓と有用新物質の発見                    | 国立予研抗生物質部長 医博 梅 沢 浜 夫<br>微生物化学研究所所長<br>東京大学 教授                                                                                                                           |
| 第 13 回<br>1972年<br>(昭和47年) | 波浪中の船の運動に関する理論的<br>研究                            | 運輸省船舶技術研究所 工博 花 岡 達 郎<br>運 動 性 能 部 長                                                                                                                                     |
| 第 14 回<br>1973年<br>(昭和48年) | 分子構造の研究                                          | 東京大学名誉教授 理博 森 野 米 三<br>相模中央化学研究所所長                                                                                                                                       |
| 第 15 回<br>1974年<br>(昭和49年) | 分子物理学および生物物理学の基礎<br>的研究                          | 東京理科大学学長 理博 小 谷 正 雄                                                                                                                                                      |
|                            | 網膜における情報処理機構の<br>研究                              | 聖マリアンナ医科大学教授 医博 富 田 恒 男                                                                                                                                                  |
| 第 16 回<br>1975年<br>(昭和50年) | 複素多様体の理論特に変形理論及び<br>複素解析曲面論の研究                   | 学習院大学教授 理博 小 平 邦 彦                                                                                                                                                       |
|                            | Poly (ADP-ribose)の発見、その生合成と<br>分解および生物学的意義に関する研究 | 京都大学医学部教授 医博 早 石 修<br>国立がんセンター研究所所長 医博 杉 村 隆                                                                                                                             |
| 第 17 回<br>1976年<br>(昭和51年) | 高分子物理学、特に生物レオロジー<br>の研究                          | 杏林大学医学部客員教授 理博 岡 小 天                                                                                                                                                     |
|                            | 遷延感作の病理                                          | 千葉大学名誉教授 医博 岡 林 篤                                                                                                                                                        |
| 第 18 回<br>1977年<br>(昭和52年) | 磁性体の理論的研究                                        | 関西学院大学理学部教授 理博 永 宮 健 夫                                                                                                                                                   |
|                            | 天然微量有機化合物の構造研究                                   | 名古屋大学理学部教授 理博 平 田 義 正                                                                                                                                                    |

| 回数及年                        | 研究題目                             | 受賞者 (敬称略)                                     |
|-----------------------------|----------------------------------|-----------------------------------------------|
| 第 19 回<br>1978 年<br>(昭和53年) | 高分子合成化学、特に新重合触媒に関する研究            | 東京理科大学教授<br>京都大学名誉教授 工博 古川 淳二                 |
|                             | 高血圧および脳卒中のモデル動物の生成とその応用研究        | 近畿大学医学部部長<br>京都大学名誉教授 医博 岡本 耕造                |
| 第 20 回<br>1979 年<br>(昭和54年) | 整数論の位相的方法による研究ならびに ZI 拡大の研究      | プリンストン大学教授 理博 岩澤 健吉                           |
|                             | HVJ による細胞融合現象の発見と研究              | 大阪大学微生物病<br>研究所教授 医博 岡田 善雄                    |
| 第 21 回<br>1980 年<br>(昭和55年) | 統計力学およびプラズマ物理学の研究                | 名古屋大学名誉教授 理博 伏見 康治                            |
|                             | 生理活性天然有機化合物の合成研究                 | 東北大学薬学部部長 薬博 亀谷 哲治                            |
| 第 22 回<br>1981 年<br>(昭和56年) | 戸田格子の研究                          | 横浜国立大学工学部教授 理博 戸田 盛和                          |
|                             | 小脳の運動学習の神経機構                     | 東京大学医学部教授 医博 伊藤 正男                            |
| 第 23 回<br>1982 年<br>(昭和57年) | 土木耐震工学に関する研究                     | 東京大学名誉教授<br>埼玉大学名誉教授 工博 岡本 舜三                 |
|                             | アミノ配糖体抗生物質に関する合成的研究              | 慶応義塾大学名誉教授 理博 梅沢 純夫                           |
| 第 24 回<br>1983 年<br>(昭和58年) | 固体の状態変化に関する構造熱力学的研究              | 関西学院大学教授<br>大阪大学名誉教授 理博 関 集三                  |
|                             | 神経細胞の形態・生物学的研究                   | 東京医科歯科大学教授 医博 萬年 甫                            |
| 第 25 回<br>1984 年<br>(昭和59年) | 近藤効果を中心とする金属電子論の研究               | 工業技術院電子技術<br>総合研究所基礎部<br>電子物理研究室長 理博 近藤 淳     |
|                             | 微生物の新機能の開発に関する研究                 | 東京大学名誉教授 農博 有馬 啓                              |
| 第 26 回<br>1985 年<br>(昭和60年) | 確率過程、特に確率解析の理論の研究                | 学習院大学教授<br>京都大学名誉教授 理博 伊藤 清                   |
|                             | 生体運動の生物物理学的研究                    | 大阪大学基礎工学部教授<br>名古屋大学理学部教授 理博 大沢 文夫            |
| 第 27 回<br>1986 年<br>(昭和61年) | 高密度磁気記録、特に垂直磁気記録方式の研究            | 東北大学電気通信<br>研究所教授 工博 岩崎 俊一                    |
|                             | 細菌の細胞分裂遺伝子の研究ならびに大腸菌の突然変異バンクの創設  | 国立遺伝学研究所教授 理博 廣田 幸敬                           |
| 第 28 回<br>1987 年<br>(昭和62年) | 代数解析、特に無限次元グラスマン多様体によるソリトン方程式の解析 | 京都大学数理解析<br>研究所教授 理博 佐藤 幹夫                    |
|                             | 有機合成化学の新手法開拓に関する研究               | 東京理科大学理学部教授<br>東京大学名誉教授 理博 向山 光昭              |
| 第 29 回<br>1988 年<br>(昭和63年) | 高エネルギー加速器科学の開拓                   | 高エネルギー物理学<br>研究所所長<br>東京大学名誉教授 理博 西川 哲治       |
|                             | 生理活性ガングリオシドの研究                   | 東京大学医学部教授 理博<br>医博 永井 克孝                      |
| 第 30 回<br>1989 年<br>(平成元年)  | 船舶流体力学における自由表面流問題に関する研究          | カリフォルニア大学<br>サンタバーバラ校教授<br>横浜国立大学名誉教授 工博 丸尾 孟 |
|                             | 有機半導体、導体および超伝導体の研究               | 岡崎国立共同研究機構<br>分子科学研究所所長<br>東京大学名誉教授 理博 井口 洋夫  |
| 第 31 回<br>1990 年<br>(平成2年)  | フォン・ノイマン環の構造解析                   | カリフォルニア大学<br>ロサンゼルス校教授 理博 竹崎 正道               |
|                             | 転移RNAの構造と機能及びその分子進化              | 国立がんセンター<br>研究所生物学部長 理博 西村 暹                  |
| 第 32 回<br>1991 年<br>(平成3年)  | 超強磁場の生成と物性科学への応用                 | 大阪大学理学部教授 理博 伊達 宗行                            |
|                             | マイクロ波および光波エレクトロニクスの研究            | 東京大学<br>先端科学技術センター教授 工博 大越 孝敬                 |
| 第 33 回<br>1992 年<br>(平成4年)  | リグニンの生化学・生合成と微生物分解機構の解明          | 日本大学農獣医学部教授<br>京都大学名誉教授 農博 樋口 隆昌              |
|                             | 細胞・組織機能の微細構造的基礎の確立               | 福岡大学医学部教授<br>東京大学名誉教授 医博 山田 英智                |
| 第 34 回<br>1993 年<br>(平成5年)  | 日本周辺の地震活動と地下構造に対する研究             | 東京大学名誉教授 理博 宇津 徳治                             |
|                             | イオン工学技術の発展                       | (株)イオン工学研究所<br>取締役研究所長<br>京都大学名誉教授 工博 高木 俊宜   |

| 回数及年                        | 研究題目                                   | 受賞者 (敬称略)                                |
|-----------------------------|----------------------------------------|------------------------------------------|
| 第 35 回<br>1994 年<br>(平成6年)  | 素粒子ビームによる広域科学の開拓                       | 東京大学原子核研究所<br>教授・所長 理博 山崎 敏光             |
|                             | 励起分子錯体の化学の開拓と確立                        | 大阪大学基礎工学部<br>名誉教授 理博 又賀 昇                |
| 第 36 回<br>1995 年<br>(平成7年)  | アーベル多様体の虚数乗法論と志村多様体の構成                 | プリンストン大学教授 理博 志村 五郎                      |
|                             | 有用かつ特異生物活性を有する微生物代謝産物の発見               | (社)北里研究所<br>理事・所長 薬博 大村 智                |
| 第 37 回<br>1996 年<br>(平成8年)  | 昆虫神経ペプチドに関する化学的・分子生物学的研究               | 東京大学副学長 農博 鈴木 昭憲                         |
|                             | サイトカインの構造と機能に関する先駆的研究                  | 東京大学医学部教授 Ph.D. 谷口 維紹                    |
| 第 38 回<br>1997 年<br>(平成9年)  | 超新星ニュートリノの観測によるニュートリノ天文学の創始            | 東京大学名誉教授 Ph.D. 小柴 昌俊                     |
|                             | 有機合成化学における新方法論と新概念の構築                  | 米国マサチューセツ<br>工科大学化学科教授 Ph.D. 正宗 悟        |
| 第 39 回<br>1998 年<br>(平成10年) | 有機フリーラジカルの集積・組織化による分子磁性体の構築の研究         | 学位授与機構教授<br>九州大学名誉教授 理博 岩村 秀             |
|                             | フェロモンを中心とする微量生物活性天然物の合成研究              | 東京理科大学理学部教授<br>東京大学名誉教授 農博 森 謙治          |
| 第 40 回<br>1999 年<br>(平成11年) | 固体中のd電子状態の理論                           | 大阪大学名誉教授 理博 金森 順次郎                       |
|                             | 細胞骨格の分子細胞生物学、細胞の形作りと細胞内物質輸送の分子機構の研究    | 東京大学大学院<br>医学系研究科教授 医博 廣川 信隆             |
| 第 41 回<br>2000 年<br>(平成12年) | 半導体量子構造による電子制御と素子機能創出の研究               | 東京大学生産技術<br>研究所教授 工博 榊 裕之                |
|                             | DNA塩基配列変化の迅速検出法の開発とヒトがんにおける遺伝子異常の把握    | 国立がんセンター研究所<br>客員研究員 薬博 関谷 剛男            |
| 第 42 回<br>2001 年<br>(平成13年) | 高エネルギー宇宙線現象の研究および宇宙観測用気球システムの研究        | 東京大学名誉教授<br>宇宙科学研究所名誉教授 理博 西村 純          |
|                             | フォトニクスポリマーの基礎的研究と機能創出                  | 慶應義塾大学<br>理工学部教授 工博 小池 康博                |
| 第 43 回<br>2002 年<br>(平成14年) | 大気および太陽ニュートリノの観測によるニュートリノ振動の発見         | 東京大学<br>宇宙線研究所教授 理博 戸塚 洋二                |
|                             | 高品質窒化物半導体単結晶の創製とp-n接合青色発光素子の実現         | 名城大学教授<br>名古屋大学名誉教授 工博 赤崎 勇              |
| 第 44 回<br>2003 年<br>(平成15年) | 面発光半導体レーザーの先駆的研究                       | 日本学術振興会理事<br>東京工業大学名誉教授 工博 伊賀 健一         |
|                             | 神経情報伝達と脳可塑性の分子機構に関する先駆的研究              | 東京大学大学院<br>医学系研究科教授 医博 三品 昌美             |
| 第 45 回<br>2004 年<br>(平成16年) | 高次元双有理幾何学理論の建設                         | 京都大学数理解析<br>研究所教授 理博 森 重文                |
|                             | サイトカインの分子生物学的研究                        | 大阪大学大学院<br>生命機能研究科科長 医博 平野 俊夫            |
| 第 46 回<br>2005 年<br>(平成17年) | キラル高分子の精密合成と機能開発                       | 名古屋大学エコトピア<br>科学研究所客員教授 理博 岡本 佳男         |
|                             | オートファジーの分子細胞生物学的研究                     | 自然科学研究機構<br>基礎生物学研究所教授 理博 大隅 良典          |
| 第 47 回<br>2006 年<br>(平成18年) | 有機合成化学における革新的合成手法の開拓                   | 科学技術振興機構<br>研究成果活用プラザ大阪館長 工博 村井 眞二       |
|                             | 生物進化の機構解明                              | 東京工業大学大学院<br>生命理工学研究科教授 薬博 岡田 典弘         |
| 第 48 回<br>2007 年<br>(平成19年) | 少数原子集団の構造解析とカーボンナノチューブの発見              | 産業技術総合研究所<br>ナノカーボン研究センター長 理博 飯島 澄男      |
|                             | 量子ドット半導体レーザーの概念創出とその実現に関する先駆的研究        | 東京大学<br>ナノ量子情報エレクト<br>ロニクス研究機構長 工博 荒川 泰彦 |
| 第 49 回<br>2008 年<br>(平成20年) | D加群の理論の構築とその応用                         | 京都大学数理解析研究所<br>所長・教授 理博 柏原 正樹            |
|                             | 多様な天然生理活性物質の全合成と創薬研究                   | 早稲田大学理工学術院教授 工博 竜田 邦明                    |
| 第 50 回<br>2009 年<br>(平成21年) | 酸化物をベースとする革新的電子機能材料の創成                 | 東京工業大学<br>フロンティア研究センター教授 工博 細野 秀雄        |
|                             | 生体エネルギー産生機構の研究                         | 岩手医科大学<br>薬学部学部長・教授 薬博 二井 將光             |
| 第 51 回<br>2010 年<br>(平成22年) | シガトキシンの全合成を中心とする生理活性天然物の総合的研究          | 東北大学大学院<br>理学研究科教授 理博 平間 正博              |
|                             | TGF- $\beta$ ファミリーのシグナル系を機軸とした分子医学への貢献 | 東京大学大学院<br>医学系研究科教授 医博 宮園 浩平             |

| 回数及年                          | 研究題目                                         | 受賞者 (敬称略)                                  |
|-------------------------------|----------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 第 52 回<br>2011 年<br>(平成 23 年) | 物質中の巨大な電気磁気応答の創成                             | 東京大学大学院工学系研究科教授 工博 十倉好紀                    |
|                               | 「次元・階層構造」の精密設計による革新的高分子新物質の創成                | 東京大学大学院工学系研究科教授 工博 相田卓三                    |
| 第 53 回<br>2012 年<br>(平成 24 年) | 位相的場の理論の幾何学的実現とその数学的基礎理論の構築                  | 京都大学大学院理学研究科教授 理博 深谷賢治                     |
|                               | 分子性酸触媒の開発                                    | 中部大学教授 分子性触媒研究センター長 Ph.D. 山本 尚             |
| 第 54 回<br>2013 年<br>(平成 25 年) | 光格子時計の発明と実現による高精度原子時計技術の開発                   | 東京大学大学院工学系研究科教授 工博 香取秀俊                    |
|                               | 革新的バイオイメージング技術の開発研究                          | 理化学研究所脳科学総合研究センター長 医博 宮脇敦史                 |
| 第 55 回<br>2014 年<br>(平成 26 年) | 精密分子設計に基づく分子科学・技術のフロンティアの開拓                  | 東京大学大学院理学系研究科特例教授 理博 中村栄一                  |
|                               | 認知記憶メカニズムの解明                                 | 東京大学大学院医学系研究科教授 医博 宮下保司                    |
| 第 56 回<br>2015 年<br>(平成 27 年) | エルビウム光ファイバ増幅器(EDFA)の先駆的研究開発と光通信の高度化に関する多大な貢献 | 東北大学電気通信研究所教授 工博 中沢正隆                      |
|                               | 転写・翻訳の構造基盤の解明と応用                             | 理化学研究所上席研究員 理博 横山茂之                        |
| 第 57 回<br>2016 年<br>(平成 28 年) | 地球深部の物質とダイナミクスの解明                            | 東京工業大学地球生命研究所所長・教授 理博 廣瀬 敬                 |
|                               | 膜タンパク質の構造と機能研究                               | 名古屋大学大学院創薬科学研究科特任教授 理博 藤吉好則                |
| 第 58 回<br>2017 年<br>(平成 29 年) | 多孔性配位高分子の創製と機能開発                             | 京都大学高等研究院副院長/特別教授 物質-細胞統合システム拠点拠点長 工博 北川 進 |
|                               | 完全分散化セルロースナノファイバーの開発                         | 東京大学大学院農学生命科学研究科教授 農博 磯貝 明                 |
| 第 59 回<br>2018 年<br>(平成 30 年) | 固体におけるトポロジカル物性の理論的研究                         | 理化学研究所創発物性科学研究センター副センター長 理博 永長直人           |
|                               | 2 型糖尿病・メタボリックシンドロームの分子基盤に関する研究               | 東京大学大学院医学系研究科特任教授 帝京大学医学部常勤客員教授 医博 門脇 孝    |
| 第 60 回<br>2019 年<br>(令和元年)    | リアルハプティクスの創出とその応用                            | 慶應義塾大学グローバルササティンステイテュート特任教授 工博 大西公平        |
|                               | MAPキナーゼ並びに関連シグナル伝達経路の分子機構と生理機能               | 理化学研究所生命機能科学研究センター長 理博 西田栄介                |
| 第 61 回<br>2020 年<br>(令和2年)    | 高次構造天然有機化合物の全合成に関する研究                        | 東京工業大学栄誉教授 基礎研究機構特命教授 理博 鈴木啓介              |
|                               | 哺乳類オートファジーの生理学的意義と分子基盤の解明                    | 東京大学大学院医学系研究科教授 医博 水島 昇                    |
| 第 62 回<br>2021 年<br>(令和3年)    | 短期気候変動現象の物理機構の解明とその予測に関する先駆的研究               | 海洋研究開発機構アプリケーションラボ特任上席研究員 理博 山形俊男          |
|                               | 有機EL素子の先駆的研究および工業化                           | 山形大学大学院卓越研究教授 Ph.D 城戸淳二                    |
| 第 63 回<br>2022 年<br>(令和4年)    | 環境調和型有機分子触媒の創製                               | 京都大学大学院薬学研究科特任教授 Ph.D 丸岡啓二                 |
|                               | ペルオキシソームの生合成基盤と欠損症研究によるオルガネラ病概念の確立           | 兵庫県立大学理学研究科特任教授 農博 藤木幸夫                    |
| 第 64 回<br>2023 年<br>(令和5年)    | 半導体量子技術の開拓と量子コンピューターへの応用                     | 理化学研究所創発物性科学研究センターグループディレクター 工博 樽茶清悟       |
|                               | シナプスと神経回路の可視化技術の開発とその応用                      | 東京大学大学院医学系研究科教授 医博 岡部繁男                    |

(注) 受賞者の職名は受賞当時の  
ものであります。

公益財団法人 藤原科学財団  
(The Fujihara Foundation of Science)

〒104-0061 東京都中央区銀座 3-7-12  
Tel (03) 3561-7736 Fax (03) 3561-7860  
URL <http://www.fujizai.or.jp>